

施設名： 国立病院機構 東京病院 / 課題名： 在宅復帰率の向上

アウトカム(設定指標)	Plan		Do	Check		Assessment
最終目標	なにを	どのように	実施状況	確認日	達成状況	改善策
在宅復帰率向上 (緩和ケア病棟の在宅復帰率を15%以上とする) ※昨年からの継続指標	① 医療従事者へ在宅復帰率向上の必要性を理解させる	①-1 各種委員会等にて説明	実施中	11/20	100%	・ 地域医療連携運営委員会、病棟運営委員会において実施。 ・ 継続的な周知により、達成が不可欠であることの意識の植え付けが必要。
		①-2 幹部への定期的な報告	実施中	11/20	100%	・ 幹部会議において在宅復帰率の状況を報告。 ・ 緩和ケアチームの活動状況を報告。 ・ 未達成の場合、幹部による状況確認とアドバイスを行う。
	② 緩和ケア地域連携カンファレンスの開催	②-1 当院職員、連携機関の方からの講演の実施	実施中	11/20	100%	・ 緩和ケア地域連携カンファレンスを開催。 ・ 講演に基づいた質疑応答、意見交換を実施。 ・ 西東京ホスピス緩和ケア病棟連絡会に出席。
		②-2	▼選択してください	/	%	
	③ その他	③-1 連携医療機関訪問	実施中	11/20	100%	・ 病院幹部、地域連携室による連携医訪問を実施。 ・ 必要に応じて緩和ケアチームのメンバーも同行。 ・ 令和元年(11月末時点)は、22機関に訪問。
		③-2 常勤の緩和ケア内科医の配置	実施中	11/20	100%	・ 今年度1名の緩和ケア内科医長を配置。 ・ 引き続き緩和ケア内科医師の確保ため募集を継続。

評価施設名： / 評価(訪問)日： 2019年 月 日

評価	① ▼選択してください	② ▼選択してください	③ ▼選択してください
総評			

施設名： 国立病院機構 東京病院 / 課題名：口腔ケアの充実

アウトカム(設定指標)		Plan	Do	Check		Assessment
最終目標	なにを	どのように	実施状況	確認日	達成状況	改善策
口腔ケアの充実 口腔管理を 900 件/年以上実施	④ 医療従事者に口腔管理の重要性を理解してもらう	①-1 研修会、勉強会を実施	実施中	11/20	100%	・「緩和ケア患者への歯科の関わり」をテーマに研修会を実施した。 ・病棟勉強会を実施している。
		①-2 会議等において口腔管理の重要性について周知	実施中	11/20	100%	・ 幹部会議で説明を行った。 ・ 今後は、幹部のみならず、がん医療に携わる医師への周知を検討。
	⑤ 医療従事者との連携を強化する	②-1 分子標的薬免疫治療支援チーム(MIST)との連携	実施中	11/20	100%	・ MIST から治療中の患者に対する口腔管理介入を依頼する流れとした。 ・ 今後も継続していく。
		②-2 口腔副作用に関する国立病院機構ネットワーク臨床研究に参加し、診療科と連携	実施中	11/20	40%	・ 来年度の臨床研究の参加を申請し、研究協力病院として決定された。
	⑥ 口腔管理介入をルール化する	③-1 化学療法のパスにおいて、口腔管理介入に関する項目を追加	実施中	11/20	0%	・パスの改定までは至っていない。 ・改定に向け関係者との協議を進めていく。
		③-2	▼選択してください	/	%	

評価施設名： / 評価(訪問)日： 2019 年 月 日

評価	① ▼選択してください	② ▼選択してください	③ ▼選択してください
総評			